

自分を守るためには

甲府市立西中学校 二年 荻野 季麻 おきの りま

去年八月、広島県広島市に豪雨が襲い、市

内全域で被害が大きく、各地で土砂災害が起

こりました。そして今年六月、九州中部付近

に停滞する梅雨前線の活動が活発化し、熊本

県や長崎県などで、局地的に激しい雨が降り

ました。私はこの2つのニュースをXデー

で取り上げられているところを見て土砂災害

に関する作文を書こうと思いましたが、しかし

私が住んでいる街、甲府は山に囲まれた盆地

で、降水量が少なく、台風の被害も小さいで

す。そのため私は、土砂災害というものを経

験したことがありませんでした。

去年の八月に広島市で起こった災害で、被

災地域での死者は七十四人。重軽傷者は四十

四人に上りました。この死者七十四人という

数は、国土交通省の発表によると、土砂災害

による人的被害としては過去三十年間の日本

で最多であるそうです。また広島県全体では、

安佐北区可部、安佐南区八木・山本・緑井な
 どを主として、百三十三軒が全壊したのをは
 じめ、三百三十棟の家屋が損壊し、四千百棟
 以上が浸水被害を受けたそうです。このニユ
 ースをテレビで見たととき正直私は、なぜ雨が
 降って家が壊れるのか分かりませんでした。
 深く考えてみると、家が壊れる、山が崩れる程
 の豪雨というくらいひどいとしても強い威力を
 もった大雨だったのだと思います。広島県は
 年間降水量が千五百三十センチメートルで、
 私が住んでいる山梨県の年間降水量が千百三
 十五ミリメートルなので、広島県は山梨県よ
 り少し多く雨が降ります。どうしてこんな
 多量雨が降ったのか原因を調べてみると、あ
 る言葉が出てきました。それは、「バツワビ
 ルディング現象」というものです。バツワビ
 ルディングとは、積乱雲が風上で繰り返し発
 生して、風下では雨が降り続ける現象のこと
 をいうようです。バツワビルディング現象が
 起きると、同じ場所の上空に次から次へ積乱

雲が作り続けられ、一ヶ月立のようにならな
 状態が
 何時間も続くことになりました。これが広島市
 を襲った豪雨の原因だと考えられています。
 今年六月、梅雨前線の活動が活発化した影
 響で九州各地が大雨に見舞われました。熊本県
 では苓北町の一部、千九百四十二世帯、四千
 七百十三人に避難指示が出されたほか、最大
 十三市町村の約十二万九千世帯、約三十万六
 千人に避難勧告が出されました。少なくとも
 県内三十四カ所で土砂崩れ・冠水の被害が発
 生しました。この大雨の原因である梅雨前線
 とは、梅雨のころ日本の南岸付近にほぼ東西
 に延びて停滞する前線のこと。この大雨は長
 期に渡り、降り続いたため被害が大きくなっ
 たのだと考えられます。
 そもそも、なぜ土砂崩れが起こるのか、自
 分なりに考えてみました。山に雨が降ると地
 面が水分を含み、ゆるくなる、また再び雨が
 降ると山が崩れることになりました。私は幼い
 ころに、砂場で砂を積み上げて山を作り、そ

ここに水を流しました。すると山が崩れ始め、元の山は運う形になりました。土砂崩れが起きるのも、これと同じ働きがあるからだと思えます。

日本は世界でも有数の土砂災害が多い国です。土砂災害の発生件数は年によってかなりばらつきがありますが、土石流・地すべり・がけ崩れを合わせて平均すると、年に四件程の土砂災害が発生しているようです。日本に土砂災害が多いのは、日本列島の地形や地質

・気象などの自然条件に大きな原因があります。また日本は山地が多く、国土の約六割が山地です。平地がせいいため、山の斜面や谷の出口など、土砂災害の起こりやすい場所に多く住んでいて、それも土砂災害で大きな被害が出る原因となっています。土砂災害を引き起こす大きな原因の一つは、雨です。日本は世界の国々の中でも特に雨が多い国です。日本の年間平均雨量は約千七百ミリメートル、世界の平均は約九百七十

ミリメートルなので、その多さが分かります。しかも日本の雨は、一年を通じて平均して降るのではなく、梅雨や台風、秋雨などの季節にまとまって大量に降るといった特徴があるようです。このため土砂災害も、梅雨や台風、秋雨の季節に起きやすいのです。

土砂災害から身を守るためには、私たちが一人ひとりが土砂災害に対して日頃から備えておくことが重要です。私が知っている対策は、住んでいる場所が、土砂災害危険箇所か確認

認すること。そして雨が降り出したら土砂災害警戒情報に注意することです。この2つを実行しても、被害は出ると思うので、安全な所へ避難難するのが、自分の命を守るための一番の策かもしれません。自分の家の周りでは土砂災害が起こらないからと言って安心するのではなく、いつ起きてもおかしくない状況なので、自分が何をすべきかというのを覚えて、土砂災害の対策をし、自分の身を守れるようにしたいです。